

令和元年度
政策提言書

令和元年9月27日

那須町議会

政策課題・提言（総務産業常任委員会）

1 観光施策について	
課題	那須の観光推進計画が具体的でなく、今後の観光客数の減少が懸念されている。また、入込数を増加させるためには、高原地区の交通渋滞の緩和策が不可欠となっている。
提言	<ul style="list-style-type: none"> ・那須温泉の魅力を発信するための総合的なプロモーション事業を推進すること。 ・観光協会の組織強化を図り町、商工会など広域的な支援体制を推進すること。 ・交通渋滞の緩和策を策定し、ハブ機能を備えた駐車場整備を進め、観光客の施設間移動手段となる新たな交通網を構築すること。
2 企業誘致について	
課題	人口減少対策として、雇用の創出を図るため、企業誘致の促進が求められている。
提言	<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致のため、民有地を含めた用地を確保すること。 ・企業の相談や要望に迅速かつ的確に対応するため担当窓口を設けること。
3 町有財産の利活用について	
課題	利活用されていない町有地、町有建物の有効活用化が進んでいない。
提言	<ul style="list-style-type: none"> ・利活用されていない町有地、町有建物を精査し、町民の意見を考慮して早急に利活用を図ること。 ・利活用できない町有地、町有建物の売却、賃借を推進すること。
4 ふるさと納税の推進について	
課題	返礼割合の制限により、ふるさと納税が大幅に減少しており、ふるさと納税の増加対策が必要となっている。
提言	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税を倍増させるため返礼品の質と種類を充実させる体制をとること。 ・納税額1万円、2万円をターゲットとした返礼品を充実させること。
5 友愛の森再整備について	
課題	友愛の森再整備計画をどうするのか、明らかになっていない。
提言	<ul style="list-style-type: none"> ・再整備計画の現状を町民に速やかに公開すること。 ・再整備は運営組織の一元化が前提であり、一元化を速やかに行うこと。 ・観光センターの事務所は、利用者のために有効に活用すること。

別紙

6 女性、若者の町政参加の促進について	
課題	女性、若者の意見を聴く機会が少ない。
提言	<ul style="list-style-type: none"> ・各種審議会に女性、若者を参画させること。そのために、女性や若者が参加しやすい審議会運営を行うこと。 ・町の重要政策策定に際し、広く女性・若手職員等の発想を活用すること。
7 いこいの家について	
課題	利用者のニーズに応えられず、宿泊利用者が増えていない。設備劣化が進んでおり、今後の運営について見直す時期に来ている。
提言	<ul style="list-style-type: none"> ・いこいの家の運営の見直しを含め、今後の方針を早急に策定すること。
8 新規就農者対応について	
課題	就農を希望する人はいるが、受け入れ態勢が不十分なため、新規就農に結びついていない。
提言	<ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者に対する相談窓口を一本化し、指導・支援を充実させることにより、就農者を増やすこと。
9 避難所の整備について	
課題	指定避難所の利用環境が不十分である。
提言	<ul style="list-style-type: none"> ・指定避難所を利用する、子ども、障がい者、ペット同伴者等に対応するためのルールを作ること。 ・発電機、扇風機、食料品、水など必要な物を供給できる体制を整備すること。

政策課題・提言（民生文教常任委員会）

1 町民の移動手段について	
課題	町民バスは利用者が少なく、デマンド交通は利便性が悪いため移動手段の改善が必要となっている。
提言	<ul style="list-style-type: none"> ・町民バスとデマンド交通を一体化すること。 ・デマンド交通の利便性向上のため、全日運行、需要のある行き先、および体の不自由な人へのドア・ツー・ドア化を図ること。
2 住宅政策について	
課題	定住化促進のため、住宅政策が必要となっている。
提言	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣市町村からの移住促進を図るため、町境界近辺の町営住宅、宅地開発政策を策定すること。 ・観光施設従業員用の町営住宅開発計画を策定すること。
3 高齢者の健康について	
課題	高齢化が進む中、健康寿命を延ばすことが重要となっている。
提言	健康マイレージ制度の導入を図ること。
4 民生委員について	
課題	民生委員は活動量が多く苦勞しており、なり手不足も問題となっている。
提言	担当地区が広い、対象者が多い民生委員を支援するため、民生委員協力員制度の導入を図ること。
5 高齢者福祉の充実について	
課題	高齢者のみの世帯が増加しており、緊急時の支援ができる体制が望まれている。
提言	希望する高齢者のみの世帯に高齢者安心コールを無償提供すること。
6 保育園の環境整備について	
課題	エアコンが設置されていない保育園の事務室がある。
提言	エアコンが設置されていない保育園の事務室にエアコンを設置すること。

別紙

7 窓口業務について	
課題	窓口を利用する町民の利便性の向上が望まれる。
提言	・手続きの時間短縮を図るため、申請書類等の手続きの簡素化、およびワンストップ化の更なる推進等を図ること。
8 スクールバスの有効活用について	
課題	部活等で生徒の移動にスクールバスの予算がないため十分に使えていない。
提言	・部活等のため生徒の移動にスクールバスが利用できるよう、必要な予算措置等を講じること。
9 地域おこし協力隊の活動について	
課題	地域おこし協力隊の活動支援が不十分であり、その活動状況について町民の認知度も低い。
提言	・地域おこし協力隊の事務所を設けること。 ・町は積極的に活動支援を行うと共に、活動の周知・PRを図ること。